

第3期健康日本21 あいち計画概要版

第1章 「第3期健康日本21 あいち計画」の策定

1 これまでの健康づくりの取組

1998年6月に「あいち健康づくりプラン～すべての県民に健康を～」を定め、その考え方に基づいた行動計画として2001年に「健康日本21 あいち計画(第1期計画)」を策定し、県民や行政・関係機関等が連携し健康づくりを推進してきた。

2013年3月には健康寿命の延伸を目指し「健康日本21 あいち新計画(第2期計画)」を策定し、健康づくりに取り組んできたところである。

国が2023年5月に示した「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針(健康日本21(第三次))」を踏まえ、本県計画も見直すこととした。

2 「第2期計画(計画期間:2013～2023年度)」最終評価の概要

第2期計画の目標達成状況は、目標指標119のうち「A(目標を達成)」と「B(策定時より改善)」をあわせると77(64.7%)であり、一定の改善があった一方、「D(策定時より悪化)」が28(23.5%)であった。

3 位置づけ及び考え方

本計画は、県民の健康づくりを総合的に推進するため、健康増進法(平成14年法律第103号)第8条第1項の規定による健康増進計画として、第2期計画の最終評価で課題とされた項目に重点を置きつつ、国の「健康日本21(第三次)」の考え方を取り入れ策定した。

4 計画期間及び進行管理

2024年度から2035年度までの12年間の計画期間とした。愛知県健康づくり推進協議会を開催し、目標指標の進捗管理や推進方策の検討を行う。

5 愛知県民の健康等の状況

本県の平均寿命、出生数、死亡者数、要介護・要支援認定者数などについて記述。

第2章 「第3期健康日本21 あいち計画」の基本的な方向及び目標設定

1 基本的な方向

基本目標達成のために4つの基本方針を掲げ、推進する。

- 〔基本目標〕 健康長寿あいちの実現(健康寿命の延伸と健康格差の縮小)
- 〔基本方針〕 (Ⅰ) 生涯を通じた健康づくり～ライフコースアプローチと健康～
- (Ⅱ) 疾病の発症予防及び重症化予防
- (Ⅲ) 生活習慣の見直し
- (Ⅳ) 社会で支える健康づくり～自然に健康になれる環境づくり～

2 目標設定

県民全体の健康水準を高めるよう、県民や社会全体が2035年度までに取り組むべき具体的な目標を設定した。

3 目標項目と分類

基本目標として2指標、基本方針(Ⅰ)では1指標、基本方針(Ⅱ)の3分野で26指標、基本方針(Ⅲ)の6分野で66指標、基本方針(Ⅳ)においては7指標と、合わせて全102指標(うち再掲4指標)とした。

4 基本目標 健康長寿あいちの実現～健康寿命の延伸と健康格差の縮小～

「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を図り、長生きしてよかったと思える健康長寿あいちの実現を目指す。

指標	現状値	目標値
健康寿命 男	72.85年 (2019年)	74.88年以上
健康寿命 女	76.09年 (2019年)	77.20年以上

5 基本方針

Ⅰ 生涯を通じた健康づくり ～ライフコースアプローチと健康～

胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的に捉えた健康づくり(ライフコースアプローチ)を推進する。

指標	現状値	目標値
健康的な生活習慣を送っている者の割合	57.0% (2022年度)	70.0%以上

Ⅱ 疾病の発症予防及び重症化予防

① がん(第4期愛知県がん対策推進計画と調和を図り記載)

がんの発症予防のための適切な生活習慣の知識普及・啓発及び早期発見のためのがん検診の受診率向上に向けた取組などを推進する。

② 循環器病(第2期愛知県循環器病対策推進計画と調和を図り記載)

循環器病の発症予防のための適切な生活習慣の知識普及・啓発及び早期発見のための特定健康診査・特定保健指導の実施率向上に向けた取組などを推進する。

③ 糖尿病

糖尿病の発症予防のための適切な生活習慣の知識普及・啓発及び早期発見のための特定健康診査・特定保健指導の実施率向上に向けた取組などを推進する。

Ⅲ 生活習慣の見直し

① 栄養・食生活

肥満ややせの減少、減塩など健康と食に関する知識の普及・啓発及び食環境の整備を推進する。

② 身体活動・運動

生涯を通じて主体的な健康づくりに取り組む動機づけ及び身体活動・運動に取り組みやすい環境整備を推進する。

③ 休養・こころの健康

十分な睡眠や余暇の充実などにより、こころの健康の保持増進を図る。

④ 喫煙

たばこによる健康への影響に関する知識の普及・啓発及び受動喫煙防止対策を推進する。

⑤ 飲酒

飲酒による健康への影響に関する知識の普及・啓発を推進する。

⑥ 歯・口腔の健康（第2期愛知県歯科口腔保健基本計画と調和を図り記載）

歯・口腔に関する知識の普及、定期的な歯科健診受診の啓発の推進及び環境整備に取り組む。

Ⅳ 社会で支える健康づくり ～自然に健康になれる環境づくり～

企業における健康経営の推進や健康増進につながる社会活動の促進など、自然に健康になれる環境整備を推進する。

指標	現状値	目標値
居住地域でお互いに助け合っていると思う者の割合	40.2% (2022年度)	45.0%以上

第3章 計画の推進方策

1 推進体制

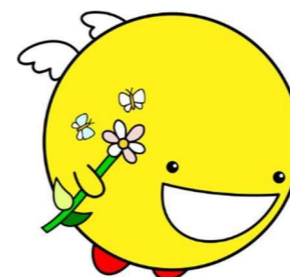
県・保健所・あいち健康の森健康科学総合センターの役割、市町村及び多様な機関・団体との連携について記載。

2 健康増進を担う人材の育成

健康増進を担う保健師、歯科衛生士、管理栄養士等の資質の向上、健康づくりリーダーや食生活改善推進員等のボランティアの養成及び活用について記載。

3 周知・広報

「愛知県健康増進計画」を県民運動として推進するにあたり、その運動をわかりやすく伝えるため生まれたイメージキャラクター「エアフィー」の活用、インターネットやソーシャルメディアの活用及び関係団体との連携による周知・広報について記載。



エアフィー

妖精を意味する英語の“fairy”を元にアルファベットを並べ替えて作った造語。

空気が当たり前に存在するように、健康であることが当たり前でありたいという願いを込めた、県民の健康づくりを応援するイメージキャラクター。

メタボ君

メタボリックシンドロームの怖さを伝えるために、エアフィーがわざと健康に悪い生活をしてメタボリックシンドロームの状態になった仮の姿。

よい生活習慣に戻るとエアフィーに戻る。

